

大学英語教育学会（JACET）中部支部 2014 年度春季定例研究会プログラム

日時： 2015 年 2 月 28 日（土） 13 時 30 分～17 時 40 分

会場： 名古屋工業大学 2 号館 2 階 0221 教室

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 Tel 052-732-2111（代）

（JR 中央本線 鶴舞駅 名大病院口から東へ約 400m、地下鉄鶴舞線 鶴舞駅 4 番出口から東へ約 500m）

開会挨拶 13 時 30 分～13 時 35 分

大森裕實（愛知県立大学）

個人研究発表

1 13 時 35 分～14 時 05 分

司会 岡戸浩子（名城大学）

英文の文脈情報は英単語の処理を促進するか？

梁 志鋭（名古屋大学大学院〔研究員〕）

2 14 時 10 分～14 時 40 分

司会 小宮富子（岡崎女子大学）

英語教育における階層的句構造分析の活用について

鈴木達也（南山大学）

3 14 時 45 分～15 時 15 分

司会 村田泰美（名城大学）

アジアにおける 3 言語話者の英語閉鎖子音の VOT に関する考察

清水克正（名古屋学院大学）

休憩 15 時 15 分～15 時 30 分

研究会研究発表（ESP 研究会）

15 時 30 分～16 時 10 分

司会 佐藤雄大（名古屋外国語大学）

看護専門学校での ESP 教育の実践

馬場景子（中部大学〔非常勤〕）

滝川桂子（名古屋文理短期大学〔非常勤〕）

休憩 16 時 10 分～16 時 20 分

講演会 16 時 20 分～17 時 30 分

司会 石川有香（名古屋工業大学）

大学英語教育、科学技術英語及び科学技術・イノベーション政策

高橋正人（情報通信研究機構）

閉会挨拶 17 時 30 分～17 時 40 分

大石晴美（岐阜聖徳学園大学）

懇親会 17 時 50 分～19 時 20 分

司会 木村友保（名古屋外国語大学）

（会場 名古屋工業大学 2 号館 11 階 ラウンジ）

発表概要

個人研究発表 1 13時35分～14時05分

英文の文脈情報は英単語の処理を促進するか？

梁 志鋭 (名古屋大学大学院[研究員])

本研究の目的は、日本人英語学習者 (N = 20) を対象に、英文読解における文脈情報が単語処理を促進するかを調べることである。眼球運動計測を用いた実験では、Altarriba, Kroll, Sholl, and Rayner (1996) の実験文を利用し、予測されやすい文 (例: We went swimming in the [pool] two hours after lunch.) と予測されにくい文 (例: The girls liked the [pool] but preferred the beach instead.) のターゲット単語 (例: pool) における注視時間を比較した。その結果、予測されにくい文と比べ、予測されやすい文のターゲット語における注視時間が有意に短かった。これは、日本人英語学習者は英文読解時に、既読部分の文脈情報の利用が未読語の処理を予測する要因となることを示している。

個人研究発表 2 14時10分～14時40分

英語教育における階層的句構造分析の活用について

鈴木達也 (南山大学)

中村 (2012)、金子 (2012、2013) 等も指摘するように、従来の英語教育においては、SV0 のような表層・線形的情報に言及することが多く、「構成素」等の階層的句構造に関わる情報は重要視されてこなかった。コミュニケーション能力育成に重きを置く現在の英語教育では、益々その傾向が強くなっていると言える。本発表は、束縛現象、再構築、演算子の作用域、構成素統御等、言語理論における研究で明らかにされてきた階層的句構造に関わる抽象的な諸概念をいかに具体的に英語教育に活かしていくべきかについて議論するものである。発表では、特に動詞句に関わる諸現象に焦点を当て、英語教育における階層的句構造分析の有効性を示すこととする。

個人研究発表 3 14時45分～15時15分

アジアにおける3言語話者の英語閉鎖子音のVOTに関する考察

清水克正 (名古屋学院大学)

本発表は、アジアにおける3言語 (中国語、タイ語、ビルマ語) 話者の英語の閉鎖子音、特に声帯振動の開始時間 (voice onset time, VOT) の変化に関するものである。これらの言語の閉鎖子音は、異なった弁別範疇を有し、2範疇である英語の閉鎖子音を学習する場合に如何に発声タイプを調整しているかを調査した。各言語の調査参加者について、母語と英語の閉鎖子音を含む単語の録音を行い、音声分析を行った。分析の結果、VOTは韓国語の一部を除き、各言語の閉鎖子音の弁別に機能していることが明らかになった。また外国語として学習する英語について、母語のVOT値との近似性でもって同化できるか否かを判断し、英語閉鎖子音の発音を行っていることが考えられる。

研究会研究発表 (ESP 研究会) 15時30分～16時10分

看護専門学校でのESP教育の実践

馬場景子 (中部大学[非常勤])

滝川桂子 (名古屋文理短期大学[非常勤])

本発表は、看護学校での英語授業にESP教育導入が有効であった報告を行う。看護系高等教育機関では、看護師国家試験を最終目標としている。このような専門性の高い教育機関での英語教育は、専門英語を行う必要があることを、半田常滑看護専門学校での医療外国語会話の授業を通し、さらに当該教育機関の教育目標である「学校教育法及び保健師助産師看護師法に規定する看護師養育所として、看護に必要な知識、技術、態度を習得させ生命を護り、健康破綻によって生じる心身の苦痛の緩和と健康への支援を通して、地域住民の保険、医療、福祉に貢献できる有能な看護師を目指す」にどのように、英語教育を反映させているかを報告する。

講演会 16 時 20 分～17 時 30 分

大学英語教育、科学技術英語及び科学技術・イノベーション政策

高橋正人（情報通信研究機構）

近年、大学英語教育は益々その重要性を増してきている。特許英語を含む科学技術英語等の分野においても、適切な教育の必要性に関する意識の急速な高まりが感じられる。これは「イノベーション」を経済成長のエンジンと位置づけ、「世界で最もイノベーションに適した国」を創り上げることを、わが国の内閣総理大臣が施政方針演説等において示されたこととも関係していよう。イノベーションは、一般に、技術革新と訳されるが、元来、革新的な技術の普及と社会実装まで含め、シュンペーターが提案した、より幅広い概念である。実際に取り組むには、高度な英語力が求められる点に特徴がある。最新の科学技術語彙への正しい理解、理解されやすい科学技術英語論文を執筆する力、説得力に富む英文特許明細書の執筆を通して国際特許を取得する力、国際会議で迅速に建設的な議論を組み立てる力、これらを始めとして、様々な局面で大学での教育水準の英語力、時にはそれ以上のものも望まれる。こうした状況を背景に、内閣府科学技術政策統括官室での国際的な実務の経験、国際連合会議参加経験、研究者として提案した測位衛星を用いた教育支援システム等について各種の情報を共有いただくと共に、理科系としては英米文学の日々の読書を好み、楽しく継続して来た語学の自己研鑽についても、脳科学における最新の興味深い知見等と関連付けつつ振り返ることで、今後わが国において、一層重視されることが予想される大学英語教育、科学技術英語教育等が目指すべき将来像について考察を加える。

講演会講師紹介

高橋正人（たかはし まさと）氏

東京大学教養学部基礎科学第一学科卒業。東京大学理学系大学院修士課程修了。東京大学大学院では大脳皮質第 17 野における視覚情報処理の機序と側方性に関する研究等に従事。国家公務員採用 I 種試験合格。郵政省入省、郵政技官として通信総合研究所配属。郵政省通信総合研究所宇宙通信部衛星間通信研究室研究官、郵政省通信総合研究所鹿島宇宙通信研究センター宇宙通信技術研究室主任研究官等として主に衛星通信・衛星測位の研究に従事。現在、（改組・組織名称変更後）総務省所管独立行政法人情報通信研究機構経営企画部企画戦略室プランニング・マネージャー。この間、内閣府科学技術政策統括官付参事官補佐併任拝命（約 2 年間）時、第 1 回内閣総理大臣表彰（産学官連携功労者）創設等を主導、第 1 回日米重要情報基盤保護政府間会合日本側構成員として貢献。オーストラリア連邦政府科学産業研究機構（在 Sydney）に客員研究員として研究留学（1 年間）。14 年毎にのみ開催される国際連合宇宙空間探査及び平和利用国際会議の第 3 回で SGF 日本代表として国連 Vienna 宣言作成に貢献したほか国際会議での学術研究成果発表経験多数。

英検 1 級、英語通訳案内士（免許取得）、国連英検 A 級、工業英検 1 級、Technical English Proficiency Test 1 級ほか多数試験に合格。自ら執筆の英文明細書等による 20 件以上の出願は全て米英独仏豪日の各国で特許に合格。公益社団法人日本工業英語協会 工業英語ジャーナル「科学技術政策と科学技術英語」好評連載中。オーストラリア連邦政府科学アカデミー科学技術賞受賞。

懇親会のご案内

名古屋工業大学 2号館 11階ラウンジにて、定例研究会懇親会を行います。会費は4,500円を予定しております。準備の都合上、参加ご希望の方は2月24日（火曜日）までに、JACET 中部ホームページよりお申し込みください。

今年度最後の情報交換・意見の場として、多くの方々のご参加をお待ちしております。なお、当日のキャンセルはご容赦ください。

事務局からのお知らせ

- ☆ 喫煙場所を除き、キャンパス内は禁煙となっております。
- ☆ キャンパス内 12カ所で eduroam（来学研究者向け無線 LAN サービス）がご利用いただけます
- ☆ プロジェクターと通常の RGB ケーブルは教室に設置されていますが、研究発表用 PC はご持参ください。また、特殊なケーブルをお使いの場合もご持参くださいますようお願いいたします。
- ☆ 研究発表用配布資料は各自でご持参ください。
- ☆ 当日、第8回中部支部役員会（12:00～13:00）を行います。役員は同会場 2号館 11階ラウンジにご参集下さい。

会場アクセス

- | | |
|-------|--|
| JR 東海 | 中央本線 鶴舞駅下車（名大病院口から東へ約 400m） |
| 地下鉄 | 鶴舞線 鶴舞駅下車（4番出口から東へ約 500m）
桜通線 吹上駅下車（5番出口から西へ約 900m） |
| 市バス | 栄 18 名大病院下車（東へ約 200m）
昭和巡回 名大病院下車（東へ約 200m） |



定例研究会に関するお問い合わせは、JACET 中部支部事務局までお願いします。

支部事務局：名古屋工業大学 石川有香研究室内

ishikawa.yuka@nitech.ac.jp